

Biz メール&ウェブ プレミアム r3

**PHP5.4 から PHP8.1 への
バージョンアップ手順
(WordPress を利用している場合)**

NTTドコモビジネス株式会社

はじめに ◆必ずお読みください◆

本書では、WordPress を利用している場合の PHP5.4 から PHP8.1 へのバージョンアップ手順をご案内します。

バージョンアップは、以下 5 つのステップが必要です。

STEP1: 現時点の WordPress のバージョンを確認する

※ WordPress のバージョンによって作業手順が異なります。必ず確認してください。

STEP2: WordPress のバックアップを取得する

※ 作業過程で不具合が発生した場合に備えて、データベース（DB）と WordPress ディレクトリ配下のバックアップを必ず取得してください。

STEP3: テーマおよびプラグインの更新

※ ご利用のテーマやプラグインが、バージョンアップ後の WordPress や PHP に対応しているかを事前に確認する必要があります。

STEP4: プラグインを無効化する

STEP5: WordPress と PHP をバージョンアップする

WordPress のバージョンが 3.7 未満の場合

WordPress のバージョンが 3.7～5.0 の場合

WordPress のバージョンが 5.1～5.5 の場合

WordPress のバージョンが 5.6 以上の場合

※ STEP1 で確認した WordPress のバージョンごとに手順が異なる部分があります。
参照先をお間違えのない様、ご注意ください。

※ WordPress のバージョンによって、管理画面の表示が本書でご案内する表示と異なる場合があります。

WordPress を複数インストールされている場合は、各 WordPress のバージョンをご確認のうえ、バージョンアップを実施ください。

※ 本書でご案内する内容は、Biz メール＆ウェブのコントロールパネルでクイックインストールした WordPress が対象です。お客さまが独自にインストールした WordPress についてはディレクトリが異なる場合があります。

◆ すべての STEP において、『WordPress 管理画面』および『コントロールパネル』へは
管理者 としてログインする必要があります。

PHP バージョンの提供スケジュールや注意事項など詳細は、以下リンク先のお知らせページをご確認ください。

新 OS へのバージョンアップに伴う、PHP5.4 提供終了のお知らせ

<https://support.ntt.com/mw-premiumr3/information/detail/pid25000020am/>

「現在のご利用環境（PHP5.4）へ PHP8.1 の試験環境を作成する方法」につきましては、以下リンク先の PDF をご参照ください。

PHP5.4 環境での PHP8.1 の試験環境作成手順について

<https://support.ntt.com/mw-premiumr3/download/detail/pid21000023pf/>

1. WordPress のバージョン確認

WordPress のバージョンは、以下いずれかの方法で確認することができます。

- コントロールパネルのファイルマネージャで「version.php」ファイルを確認する
- WordPress の管理画面で確認する

1.1 コントロールパネルのファイルマネージャで確認する

- 1) コントロールパネル上部メニューの「ファイル」をクリックしてファイルマネージャを開きます。



The screenshot shows the Bizメール&ウェブ control panel interface. The top navigation bar has 'File' highlighted with a red box. The left sidebar contains various management options like 'Domain', 'User', 'Mail Server', etc. The main area is titled 'File Manager' and shows a list of files in the root directory ('.') with a timestamp of '2021/02/03 04:00 AM'. Buttons for 'Create Directory', 'Create File', and 'Upload' are visible at the bottom.

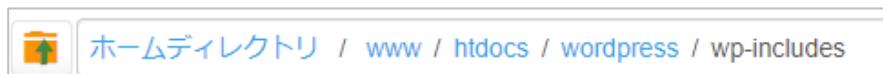
名前	最終更新日	サイズ	操作
etc	2022/09/22		開く
tmp	2023/04/21		開く

- 2) 「wp-includes」ディレクトリまで、各ディレクトリをクリックして辿ります。

※ WordPress のインストール先によって、以下の通りパスが異なります。

■ テンポラリドメイン*配下に WordPress をインストールしている場合

/www/htdocs/wordpress/wp-includes



■ 独自ドメイン配下に WordPress をインストールしている場合

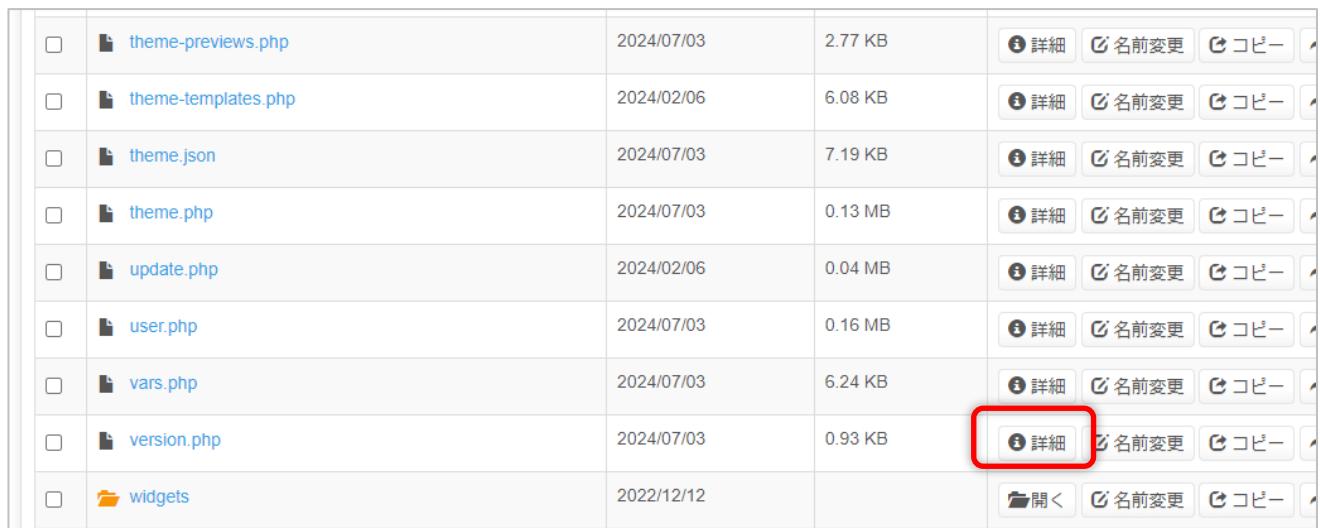
/users/管理者ID**/www/独自ドメイン/wordpress/wp-includes



*ご契約時に付与されているドメイン (c*****.mwprem.net)

**コントロールパネルに管理者としてログインする際の ID

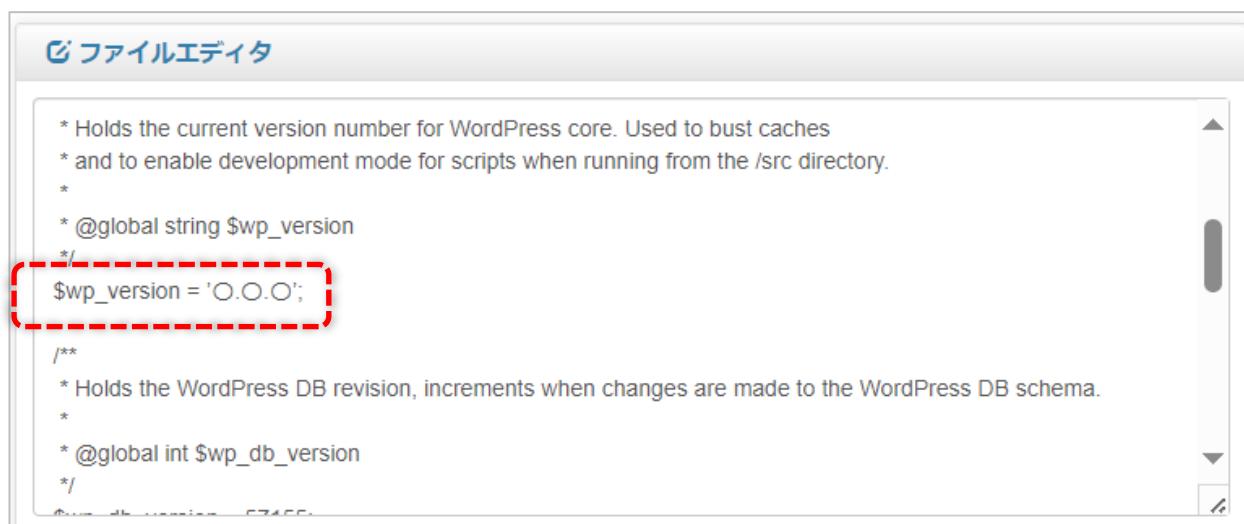
- 3) 「wp-includes」ディレクトリ内にある「version.php」ファイルの【詳細】をクリックします。



<input type="checkbox"/>	theme-previews.php	2024/07/03	2.77 KB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	theme-templates.php	2024/02/06	6.08 KB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	theme.json	2024/07/03	7.19 KB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	theme.php	2024/07/03	0.13 MB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	update.php	2024/02/06	0.04 MB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	user.php	2024/07/03	0.16 MB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	vars.php	2024/07/03	6.24 KB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	version.php	2024/07/03	0.93 KB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	widgets	2022/12/12		開く 名前変更 コピー

- 4) 画面下部の「ファイルエディタ」で「\$ wp_version = '〇.〇.〇';」の記述を確認します。

※ '〇.〇.〇'部分がお客様の環境にインストールされている WordPress のバージョンです。



```
* Holds the current version number for WordPress core. Used to bust caches
* and to enable development mode for scripts when running from the /src directory.
*
* @global string $wp_version
*/
$wp_version = '〇.〇.〇';

/**
 * Holds the WordPress DB revision, increments when changes are made to the WordPress DB schema.
*
* @global int $wp_db_version
*/
```

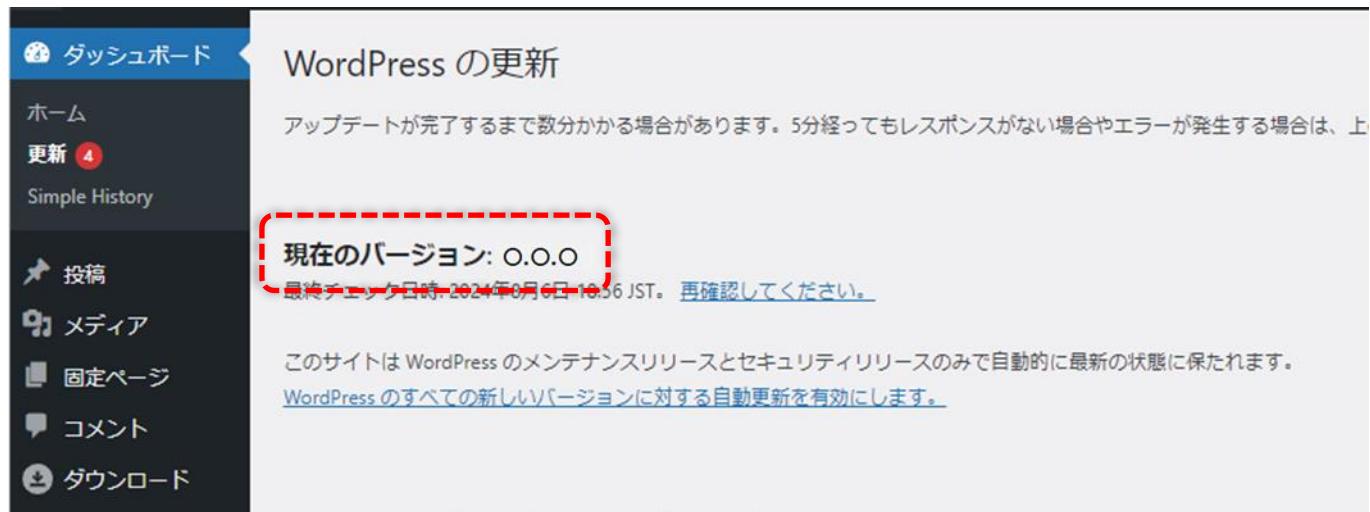
- 5) 確認できたら、[キャンセル] をクリックしてエディタ画面を閉じてください。



1.2 WordPress の管理画面で確認する

WordPress 管理画面の左メニュー [ダッシュボード] - [更新] をクリックすると、現在ご利用中のバージョンが表示されます。

※ 下図の○.○.○部分がお客様の環境にインストールされている WordPress のバージョンです。



※ WordPress 管理画面へのログインについては、以下のマニュアルをご参照ください。

4.2.3 追加アプリの管理画面 | 管理者マニュアル

https://bizmw.jp/p-manual/mwpr3_admin/oid0143#oid0146

2. WordPress のバックアップ取得

本書では、WordPress のバックアップ方法として以下をご案内します。

- phpMyAdmin でデータベース（以下、DB）をエクスポートする
- WordPress のディレクトリを圧縮する

※ お客さまでご用意いただいたバックアップ用のプラグイン等（復元に必要なバックアップが取れるもの）をお使いいただく方法でも問題ありません。

※ プラグインの使用方法等については、サポート対象外となります。

2.1 phpMyAdmin で DB をエクスポートする

1) phpMyAdmin にログインします。

2) 左のパネルから WordPress の DB 名をクリックしてから、画面上部の「エクスポート」タブをクリックします。

The screenshot shows the phpMyAdmin interface. On the left, there is a tree view of databases: information_schema, mysql, performance_schema, sys, and wordpress. The 'wordpress' database is selected and highlighted with a red box. On the right, the main panel shows the 'wordpress' database structure with tables: wp_commentmeta, wp_comments, wp_links, wp_options, wp_postmeta, wp_posts, and wp_terms. A red box highlights the 'Export' tab in the top navigation bar.

※ WordPress の DB 名は、インストールした時期や方法によって異なります。

ワンクリックインストールでインストールされた場合、wpress_db, wpress2_db などに設定されています。

※ 左のパネルが表示されていない場合は、ページ左上部の「→」矢印アイコンをクリックすると表示されます。



3) エクスポート画面で、以下の項目をそれぞれ選択します。

※ ここでは、以下に記載している項目以外は初期状態のままで一般的な設定内容をご案内します。
お客様の運用方法に合わせてオプションを選択する等してください。

データベース "wordpress" からテーブルをエクスポート

エクスポート方法:

- 簡易 - 最小限のオプションだけ表示
- 詳細 - 可能なオプションをすべて表示

テーブル:

全選択 / 全選択解除

wp_commentmeta
wp_comments
wp_links
wp_options
wp_postmeta
wp_posts
wp_terms
wp_term_relationships
wp_term_taxonomy
wp_usermeta

エクスポート方法: [詳細] を選択する

テーブル: [全選択] の状態にする

出力:

- 出力をファイルに保存する

ファイル名のテンプレート: 今後のエクスポートでこれを使用する

ファイルの文字セット:

圧縮:

- 出力をテキストで表示する

フォーマット:

なし
なし
zip 形式
gzip 形式
bzip 形式

出力: データベースのサイズが大きすぎる場合は、エラーが発生する可能性があります。その場合は、エクスポートをする際に、選択するデータテーブルを分割、または、ZIP 形式などで圧縮してエクスポートする方法をお試しください。

フォーマット:

SQL

フォーマット: [SQL] となっていることを確認する

生成オプション

追加コマンド:

- CREATE DATABASE / USE コマンドを追加する
- DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する
- CREATE PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する
- CREATE TABLE オプション:
 - IF NOT EXISTS
 - AUTO_INCREMENT

逆クオートでテーブルやカラムの名前を囲む (特殊な文字やキーワードを含むカラム名やテーブル名を保護します)

生成オプション: 以下の状態であることを確認する

項目	チェック有無
CREATE DATABASE / USE コマンドを追加する	チェックなし
DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する	チェックあり
CREATE PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する	チェックあり
CREATE TABLE オプション	チェックあり
IF NOT EXISTS	チェックなし
AUTO_INCREMENT	チェックあり

- 4) 「エンコーディングへの変換」が [なし] であることを確認のうえ、[実行] をクリックします。

エンコーディングへの変換:

なし EUC SJIS
 全角カナへ変換する

実行

※ エクスポートしたデータは、作業が完了するまでお客様のローカル環境で保持してください。

2.2 WordPress のディレクトリを圧縮する



注意

「wordpress」ディレクトリ配下に UTF-8 以外のマルチバイトのファイル名が存在する場合は、本項で説明する圧縮機能はご利用いただけません。 該当ファイルが存在している場合は、以下いずれかの方法でバックアップを取得してください。

【方法 1】 FTP などでローカル PC に WordPress ディレクトリを保存する

【方法 2】 コントロールパネル（ファイルマネージャ）の「コピー」機能で WordPress ディレクトリのコピーを作成する

※ コピー機能については、以下のマニュアルをご参照ください。

4.2.4 ファイルやディレクトリの編集・名前変更・移動・コピー | 利用者マニュアル

https://bizmw.jp/p-manual/mwpr3_user/oid0398#oid0402

※ WordPress ファイルの大きさによっては、ディスク容量を多く消費する可能性がありますので、事前にご確認のうえコピーを作成してください。

1) コントロールパネル上部メニューの「ファイル」をクリックして、ファイルマネージャを開きます。

2) WordPress をインストールしているディレクトリまで、各ディレクトリをクリックして辿ります。

※ WordPress のインストール先によって、以下の通りパスが異なります。

■ テンポラリドメイン*配下に WordPress をインストールしている場合

/www/htdocs



ホームディレクトリ / www / htdocs

■ 独自ドメイン配下に WordPress をインストールしている場合

/users/ 管理者 ID**/www/ 独自ドメイン



ホームディレクトリ / users / 管理者 ID / www / 独自ドメイン

*ご契約時に付与されているドメイン (c*****.mwprem.net)

**コントロールパネルに管理者としてログインする際の ID

- 3) 「wordpress」ディレクトリのチェックボックスを選択して、[一括圧縮] をクリックします。

The screenshot shows a file management interface with the following details:

- 操作:** 削除 | 圧縮 | 共有 | コピー | 移動 | 名前変更 | 属性変更 | 所有者変更 | 復元 | ショートカット作成
- 3ディレクトリ, 2ファイル, (2隠しファイル), (0ショートカット)
- 隠しファイルを表示
- 操作バー:** メニュー (一括圧縮, 一括共有, 一括削除)
- リスト:**

名前	最終更新日	サイズ	操作
<input checked="" type="checkbox"/> wordpress	2024/08/07		[開く] [名前変更] [コピー] [移動]
<input type="checkbox"/> .htaccess	2023/09/19	0.59 KB	[詳細] [名前変更] [コピー] [移動]

- 4) 確認のポップアップが表示されたら [OK] をクリックします。



- 5) ファイル名を確認のうえ [圧縮] をクリックします。

The screenshot shows the file compression dialog with the following settings:

- ファイル / ファイルマネージャ / 圧縮
- 圧縮**
- wordpressを圧縮します。
ディレクトリの場合はディレクトリ内の全てのファイルを圧縮して一つの圧縮ファイルを作成します。
- ファイル名:** wordpress
- 圧縮ファイル形式 (.zip もしくは .tgz):** zip
- 保存先ディレクトリ:** ホームディレクトリ/www/htdocs
- 操作バー:** 圧縮 キャンセル

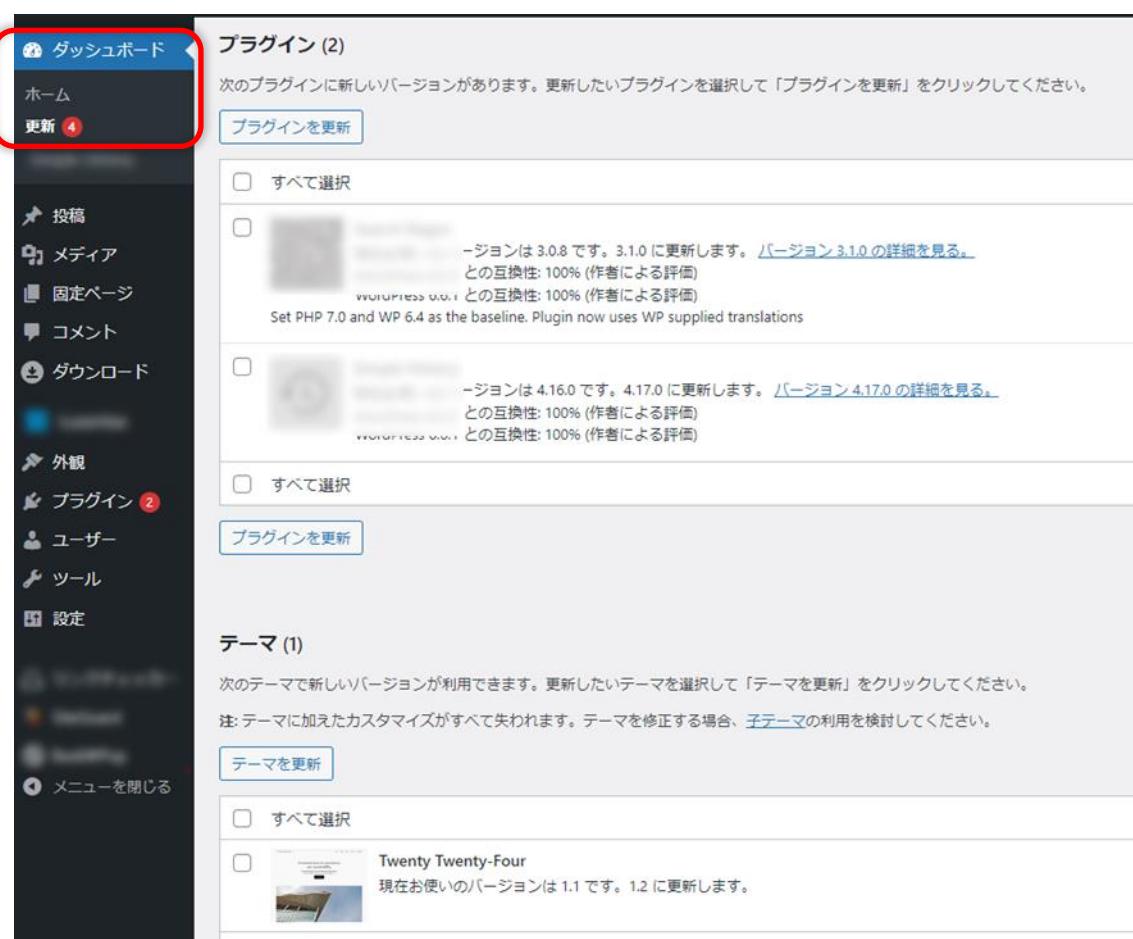
3. テーマおよびプラグインについて

3.1 テーマ/プラグインの更新

事前に、ご利用のテーマやプラグインがバージョンアップ後の「WordPress6.x.x」や「PHP8.1」に対応しているかを必ずご確認ください。

※ テーマやプラグインによっては、WordPress のバージョンアップ後に更新する場合もあります。

テーマやプラグインの更新は、WordPress 管理画面「ダッシュボード」の「更新」から行う事ができます。



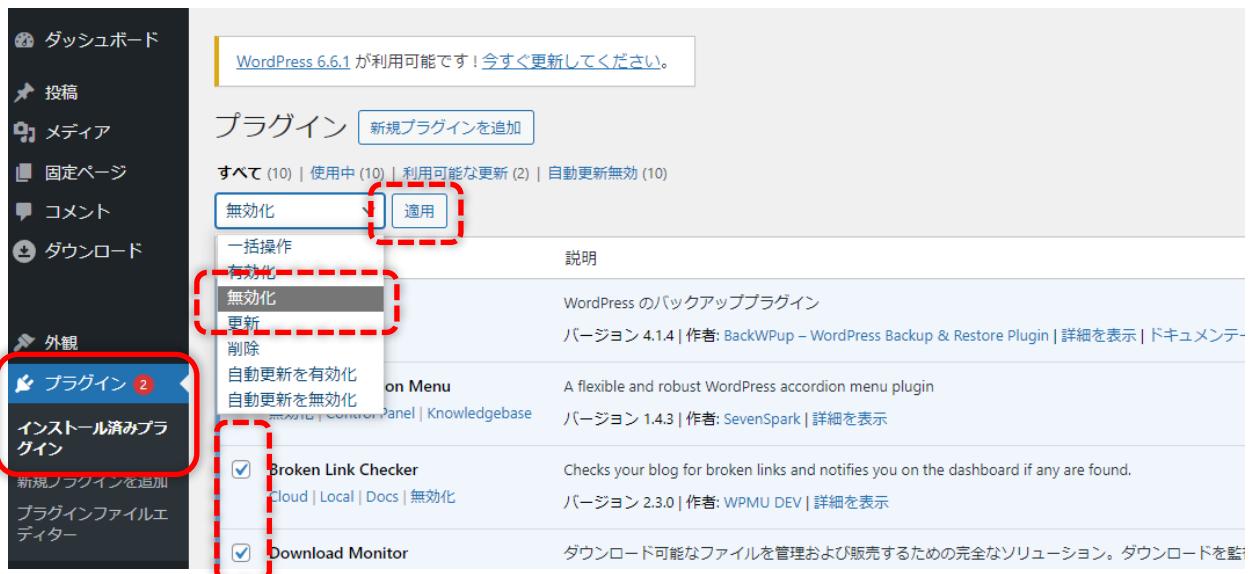
※ ご利用のテーマによっては、更新の有無が WordPress の管理画面に通知されない（テーマの公式サイトでのみ公開している等）場合もありますので、ご注意ください。

3.2 プラグインの無効化

WordPress をバージョンアップする前に、利用しているプラグインを無効化することをお勧めします。

※ 有効化したまま作業すると、万が一問題が発生した際にバージョンアップが原因なのか、プラグインの影響なのか切り分けが難しくなります。

プラグインの無効化は、WordPress 管理画面「プラグイン」の「インストール済みプラグイン」から行えます。



- ※ プラグインをすべて選択してから [無効化] を選択して [適用] をクリックすると、一括で無効化できます。
- ※ PHP8.1 へバージョンアップした後に、プラグインをひとつずつ有効化して Web サイトの動作を確認してください。

4. WordPress と PHP のバージョンアップ^o

4.1 WordPress 3.7 未満の場合

4.1.1 WordPress 提供元で紹介されている手順を参考にバージョンアップする

WordPress3.7 未満では WordPress 管理画面からの自動バックグラウンド更新を利用する事ができません。

WordPress のバージョンアップ手順や注意事項など詳細は、以下 WordPress 提供元の公式ページをご参照ください。

WordPress の更新 – 詳細な手順

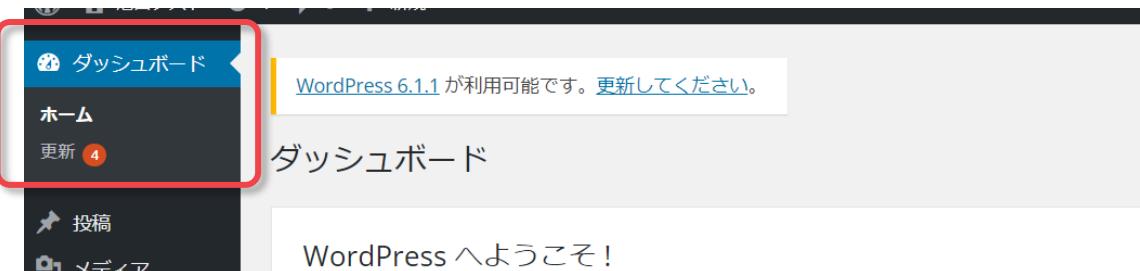
<https://ja.wordpress.org/support/article/upgrading-wordpress-extended-instructions/>

4.2 WordPress 3.7～5.0 の場合

4.2.1 PHP5.4 の状態で WordPress を 5.1 までバージョンアップする

はじめに、PHP5.4 のまま WordPress5.1.x までバージョンアップします。

- 1) WordPress 管理画面の左メニュー [ダッシュボード] - [更新] をクリックします。



- 2) 「WordPress 5.1.x」の「今すぐ更新」をクリックします。



プラグイン・設定・テーマファイル・カスタマイズ等の影響により [今すぐ更新] ボタンが表示されないことがあります。この場合は [「4.1.1 WordPress 提供元で紹介されている手順を参考にバージョンアップする」](#) をご参照ください。

- 3) 『データベースの更新が必要』と表示されたら [WordPress データベースを更新] をクリックし、『更新完了』が表示されたら [次へ] をクリックします。



4.2.2 PHP7.4 に切り替える

WordPress5.1.x までバージョンアップできたら、PHP7.4 に切り替えます。

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [基本アプリ] をクリックして、基本アプリ画面で PHP の [設定] をクリックします。

The screenshot shows the 'Basic Applications' section of the cPanel interface. On the left, there's a sidebar with various links. The 'Applications' link is highlighted with a red box. In the main area, there are two tables. The first table lists services: Postfix, Apache, ProFTPD, and Dovecot, all in 'Running' status with 'Settings' buttons. The second table lists script languages: PHP and Perl, both in 'Running' status with 'Settings' buttons. The 'PHP' row's 'Settings' button is specifically highlighted with a red box.

- 2) 画面下部「PHP バージョン」欄で「7.4」を選択して [変更] をクリックします。

※ モード (CGI/Module) はお客様のご利用に合わせて選択してください。

The screenshot shows the 'PHP Version' configuration page. It has a message about changing the PHP version. Below it is a table with two rows. The first row shows 'Now Version' as '5.4 (Module)'. The second row is for 'Version Selection' with a dropdown menu. The '5.4 (Module)' option is currently selected. Below the dropdown, the '7.4 (Module)' option is highlighted with a red box. To the right of the dropdown is a large orange 'Change' button, which is also highlighted with a red box.

4.2.3 WordPress を 5.6 以上にバージョンアップする

PHP7.4 に切り替えたら、WordPress5.6.x 以上にバージョンアップします。

- 1) WordPress 管理画面の左メニュー [ダッシュボード] - [更新] をクリックします。



- 2) 「WordPress 5.6.x」以上の「今すぐ更新」をクリックします。



プラグイン・設定・テーマファイル・カスタマイズ等の影響により [今すぐ更新] ボタンが表示されないことがあります。この場合は [「4.1.1 WordPress 提供元で紹介されている手順を参考にバージョンアップする」](#) をご参照ください。

- 3) 『データベースの更新が必要』と表示されたら [WordPress データベースを更新] をクリックし、『更新完了』が表示されたら [次へ] をクリックします。



4.2.4 PHP8.1 に切り替える

WordPress5.6.x 以上にバージョンアップできたら、PHP8.1 に切り替えます。

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [基本アプリ] をクリックして、基本アプリ画面で PHP の [設定] をクリックします。

The screenshot shows the cPanel interface. On the left, there's a sidebar with various menu items: 管理者設定, メイン, ユーザー, メールサーバー, ウェブサーバー, アプリケーション (which is highlighted with a red box), 基本アプリ (which is highlighted with a blue box), 追加アプリ, データベース, システム, and 管理者サポート. The main content area is titled '管理者設定 / アプリケーション / 基本アプリ'. It has two tables. The first table, 'Basic Applications', lists services: Postfix, Apache, ProFTPD, Dovecot, all in '起動中' (Running) status with '設定' (Settings) links. The second table, 'Script Languages', lists PHP and Perl, both in '起動中' status with '設定' (Settings) links. A red box highlights the 'Settings' link for the PHP row.

- 2) 画面下部「PHP バージョン」欄で「8.1」を選択して [変更] をクリックします。
※ モード (CGI/Module) はお客様のご利用に合わせて選択してください

The screenshot shows the 'PHP Version' configuration page. At the top, it says 'PHPのバージョンを変更できます。' and 'PHPのバージョンを変更すると、従来バージョン用にデザインされた既存のスクリプトが使えなくなることがありますのでご注意ください。'. Below is a table with two rows. The first row shows '現在のバージョン' as '7.4 (Module)'. The second row is for 'バージョンの選択', which has a dropdown menu open. The dropdown menu lists several options: '7.4 (Module)', '5.4 (CGI)', '5.4 (Module)', '7.4 (CGI)', '7.4 (Module)', '8.1 (CGI)', and '8.1 (Module)'. The '8.1 (Module)' option is highlighted with a red box. To the right of the dropdown is an orange '変更' (Change) button, which is also highlighted with a red box.

4.2.5 phpMyAdmin5.2 に切り替える

PHP8.1 に切り替えたら、phpMyAdmin5.2 に切り替えます。

※ phpMyAdmin をご利用でない場合は、この作業は不要です。

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [データベース] をクリックして、データベース画面で phpMyAdmin の [設定] をクリックします。

サービス名	ステータス	操作
MySQL	未設定	<button>利用開始</button>
PostgreSQL	未設定	<button>利用開始</button>
phpMyAdmin	有効	<button>設定</button> <button>無効化</button>
phpPgAdmin ※ PHP8.1ではphpPgAdminをご利用いただけません。 pgAdminをご利用ください。	無効	<button>設定</button> <button>有効化</button>
pgAdmin	無効	<button>設定</button> <button>有効化</button>

- 2) 画面下部「phpMyAdmin バージョン」欄で [phpMyAdmin5.2 にバージョン変更] をクリックします。

ご注意	現在ご利用中のphpMyAdminのサポート対象はPHP 7.4およびMySQL 5.7です。 phpMyAdmin 4.4.15にバージョン変更した場合、サポート対象はPHP 5.4およびMySQL 5.7です。 phpMyAdmin 5.2にバージョン変更した場合、サポート対象はPHP 7.2以上およびMySQL 5.5以上です。 バージョン変更反映のため、Apacheが再起動されます。
ご利用中のバージョン	5.0.4
phpMyAdmin 4.4.15にバージョン変更 phpMyAdmin 5.2にバージョン変更	

4.2.6 プラグインを有効化して動作確認する

3.2 プラグインの無効化で無効にしたプラグインを一つずつ有効化して動作を確認してください。

4.3 WordPress 5.1～5.5 の場合

4.3.1 PHP7.4 に切り替える

はじめに、PHP7.4 に切り替えます。

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [基本アプリ] をクリックして、基本アプリ画面で PHP の [設定] をクリックします。

基本アプリ		
サービス名	ステータス	操作
Postfix	起動中	
Apache	起動中	WebDAV
ProFTPD	起動中	
Dovecot	起動中	

スクリプト言語		
サービス名	ステータス	設定
PHP	起動中	
Perl	起動中	

- 2) 画面下部「PHP バージョン」欄で「7.4」を選択して [変更] をクリックします。
※ モード (CGI/Module) はお客様のご利用に合わせて選択してください。

現在のバージョン	5.4 (Module)
バージョンの選択	5.4 (Module) 5.4 (CGI) 5.4 (Module) 7.4 (Module) 7.4 (CGI) 8.1 (CGI) <small>8.1 (Module) (Default)</small>
	変更

4.3.2 WordPress を 5.6 以上にバージョンアップする

PHP7.4 に切り替えたら、WordPress5.6.x 以上にバージョンアップします。

- 1) WordPress 管理画面の左メニュー [ダッシュボード] - [更新] をクリックします。

The screenshot shows the WordPress dashboard. On the left, there is a sidebar with various menu items: ホーム, 更新 (with a red circle containing '4'), 投稿, メディア, 固定ページ. The '更新' item is highlighted with a red box. On the right, there is a main content area titled 'ダッシュボード' with the message 'WordPress へようこそ！ 初めての方に便利なリンクを集めました。' Below this, there is a yellow box with the text 'WordPress 6.1.1 が利用可能です。更新してください。' and a link '更新してください'.

- 2) 「WordPress 5.6.x」以上の「今すぐ更新」をクリックします。

The screenshot shows the 'WordPress の更新' (WordPress Update) screen. On the left, there is a sidebar with various menu items: ホーム, 更新 (with a red circle containing '6'), 投稿, メディア, 固定ページ, コメント, 外観, プラグイン (with a red circle containing '1'). In the main content area, there is a message 'WordPress の新しいバージョンがあります。' followed by a blue button labeled '今すぐ更新'. This button is highlighted with a red box. There is also another blue button labeled 'この変更を非表示にする' and a link 'WordPress の更新'.

プラグイン・設定・テーマファイル・カスタマイズ等の影響により [今すぐ更新] ボタンが表示されないことがあります。この場合は「[4.1.1 WordPress 提供元で紹介されている手順を参考にバージョンアップする](#)」をご参照ください。

- 3) 『データベースの更新が必要』と表示されたら [WordPress データベースを更新] をクリックし、『更新完了』が表示されたら [次へ] をクリックします。

The screenshot shows the database update process. It consists of two overlapping windows. The top window has a title 'データベースの更新が必要です' and contains the text 'WordPress が更新されました。次に最後のステップとして、データベースを最新バージョンに更新する必要があります。' A red box highlights the blue button 'WordPress データベースを更新'. A large red arrow points from this window down to the second window. The second window has a title '更新完了' and contains the text 'WordPress のデータベースの更新に成功しました！' A red box highlights the blue button '次へ'.

4.3.3 PHP8.1 に切り替える

WordPress5.6.x 以上にバージョンアップできたら、PHP8.1 に切り替えます。

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [基本アプリ] をクリックして、基本アプリ画面で PHP の [設定] をクリックします。

サービス名	ステータス	操作
Postfix	起動中	<input type="button" value="設定"/>
Apache	起動中	<input type="button" value="設定"/> WebDAV
ProFTPD	起動中	<input type="button" value="設定"/>
Dovecot	起動中	<input type="button" value="設定"/>

サービス名	ステータス	設定
PHP	起動中	<input type="button" value="設定"/>
Perl	起動中	

- 2) 画面下部「PHP バージョン」欄で「8.1」を選択して [変更] をクリックします。
※ モード (CGI/Module) はお客様のご利用に合わせて選択してください

現在のバージョン	7.4 (Module)
バージョンの選択	7.4 (Module) <ul style="list-style-type: none"> 5.4 (CGI) 5.4 (Module) 7.4 (CGI) 7.4 (Module) 8.1 (CGI) 8.1 (Module)

4.3.4 phpMyAdmin5.2 に切り替える

PHP8.1 に切り替えたら、phpMyAdmin5.2 に切り替えます。

※ phpMyAdmin をご利用でない場合は、この作業は不要です。

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [データベース] をクリックして、データベース画面で phpMyAdmin の [設定] をクリックします。

サービス名	ステータス	操作
MySQL	未設定	<button>利用開始</button>
PostgreSQL	未設定	<button>利用開始</button>
phpMyAdmin	有効	<button>設定</button> <button>無効化</button>
phpPgAdmin ※ PHP8.1ではphpPgAdminをご利用いただけません。 pgAdminをご利用ください。	無効	<button>設定</button> <button>有効化</button>
pgAdmin	無効	<button>設定</button> <button>有効化</button>

- 2) 画面下部「phpMyAdmin バージョン」欄で [phpMyAdmin5.2 にバージョン変更] をクリックします。

ご注意	現在ご利用中のphpMyAdminのサポート対象はPHP 7.4およびMySQL 5.7です。 phpMyAdmin 4.4.15にバージョン変更した場合、サポート対象はPHP 5.4およびMySQL 5.7です。 phpMyAdmin 5.2にバージョン変更した場合、サポート対象はPHP 7.2以上およびMySQL 5.5以上です。 バージョン変更反映のため、Apacheが再起動されます。
ご利用中のバージョン	5.0.4
phpMyAdmin 4.4.15にバージョン変更 phpMyAdmin 5.2にバージョン変更	

4.3.5 プラグインを有効化して動作確認する

3.2 プラグインの無効化で無効にしたプラグインを一つずつ有効化して動作を確認してください。

4.4 WordPress 5.6 以上の場合

4.4.1 PHP8.1 に切り替える

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [基本アプリ] をクリックして、基本アプリ画面で PHP の [設定] をクリックします。

The screenshot shows the 'Basic Applications' section of the cPanel interface. On the left sidebar, 'Application' is selected under 'Basic Applications'. In the main area, there's a table for 'Apache' with a 'Settings' button highlighted with a red box. Another red box highlights the 'Settings' button for the 'PHP' row in the 'Scripting Languages' section.

サービス名	ステータス	操作
Postfix	起動中	<input type="button" value="設定"/>
Apache	起動中	<input type="button" value="設定"/> WebDAV
ProFTPD	起動中	<input type="button" value="設定"/>
Dovecot	起動中	<input type="button" value="設定"/>

サービス名	ステータス	設定
PHP	起動中	<input type="button" value="設定"/>
Perl	起動中	

- 2) 画面下部「PHP バージョン」欄で「8.1」を選択して [変更] をクリックします。
※ モード (CGI/Module) はお客様のご利用に合わせて選択してください

The screenshot shows the 'PHP Version' selection dialog. It displays the current version as '7.4 (Module)' and a dropdown menu with options: '5.4 (CGI)', '5.4 (Module)', '7.4 (CGI)', '7.4 (Module)', '8.1 (CGI)', and '8.1 (Module)'. The '8.1 (Module)' option is highlighted with a red box. A large orange 'Change' button is also highlighted with a red box.

4.4.2 phpMyAdmin5.2 に切り替える

※ phpMyAdmin をご利用でない場合は、この作業は不要です。

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [データベース] をクリックして、データベース画面で phpMyAdmin の [設定] をクリックします。

サービス名	ステータス	操作
MySQL	未設定	<button>利用開始</button>
PostgreSQL	未設定	<button>利用開始</button>
phpMyAdmin	有効	<button>設定</button> <button>無効化</button>
phpPgAdmin ※ PHP8.1ではphpPgAdminをご利用いただけません。 pgAdminをご利用ください。	無効	<button>設定</button> <button>有効化</button>
pgAdmin	無効	<button>設定</button> <button>有効化</button>

- 2) 画面下部「phpMyAdmin バージョン」欄で [phpMyAdmin5.2 にバージョン変更] をクリックします。

ご注意	現在ご利用中のphpMyAdminのサポート対象はPHP 7.4およびMySQL 5.7です。 phpMyAdmin 4.4.15にバージョン変更した場合、サポート対象はPHP 5.4およびMySQL 5.7です。 phpMyAdmin 5.2にバージョン変更した場合、サポート対象はPHP 7.2以上およびMySQL 5.5以上です。 バージョン変更反映のため、Apacheが再起動されます。
ご利用中のバージョン	5.0.4

[phpMyAdmin 4.4.15にバージョン変更](#)
phpMyAdmin 5.2にバージョン変更

4.4.3 プラグインを有効化して動作確認する

3.2 プラグインの無効化で無効にしたプラグインを一つずつ有効化して動作を確認してください。

Biz メール&ウェブ プレミアム r3

PHP5.4 から PHP8.1 への
バージョンアップ手順
(WordPress を利用している場合)

発行 NTT ドコモビジネス株式会社



© NTT ドコモビジネス株式会社
本書の無断複写複製(コピー)・転載を禁じます。